

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103458
法人名	株式会社ケアジャパン
事業所名	グループホーム ハッピー
所在地	松山市中央1丁目17番35号
自己評価作成日	平成21年10月31日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年11月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

“あなたらしい生活を応援します”を運営理念とし、商業地域に立地しながらも地域に根ざしたホームづくりに努めています。
皆様に、日常生活を楽しく、家庭的な雰囲気の中でお一人お一人の個性・生活リズム・生活様式を大切にしながら、可能な限り自立した生活ができるように応援します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

調査訪問時、車椅子を使用されている方が、ひざの上に食器を乗せて下膳されている様子が見られた。又、配膳したり、テーブルを拭いている方もあった。週4日、昼食は給食サービスを利用されているが、その他の食事は、ホームで手作りをされており、利用者メニューを決めて、一緒に買い物にも出かけておられる。利用者の誕生日には、手作りのケーキでお祝いされている。
洋服店で好みの洋服を選んで買ったり、近くの100円ショップで日用品等を買う等、買い物を楽しみ、外食して帰ることもある。天気の良い日には松山総合公園に、お弁当を持って出かけたり、時には、ドライブでお花のきれいな場所等に出かけることもある。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームハッピー

(ユニット名) ハッピー

記入者(管理者)

氏名 吉田 君子

評価完了日 平成21年 10月 31日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) いつでも見えるところに理念を掲示し、パンフレットにも記載しています。理念の実現に向けて努力しています。	
			(外部評価) 「あなたらしい生活を応援します。」「地域に根ざしたホーム作り」と事業所の理念を掲げて、日々取り組んでおられる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) ・近所のスーパーに買い物に行った時、散歩時に挨拶をしてグループホームの存在を知っていただくように勤めています。 ・地域の行事にできるだけ参加しています。 勝山フェスティバル、いきがい清水交流センターのしみず祭り等	
			(外部評価) 地域の行事「勝山フェスティバル」に利用者と職員で出かけて、盆踊りを踊ったり屋台で軽食を楽しまれた。又、「いきがい交流センターしみず祭り」では展示物を見学された。 事業所は商業地域に位置し、地域とのかかわりにむつかしさもあるが、利用者とともに、日常的に外出する等、地域の中に出かけるような機会を積極的に作り、事業所からも地域とかがわりが作れるような取り組みを工夫されてみてほしい。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 取り組みができていません。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)	運営推進会議には、様々な立場の方に参加していただき意見を頂戴し、改善の参考にしています。	
			(外部評価)		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くよう に取り組んでいる	(自己評価)	松山市の職員の研修を受入れしています。その際に意見やアドバイスをいただき、運営に役立てています。	
			(外部評価)		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準にお ける禁止の対象となる具体的な行為」を正 しく理解しており、玄関の施錠を含めて身 体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	身体拘束のマニュアルを事務所に設置し、いつでも見れるようにして職員に周知させています。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ・職員は外部研修に参加しています。 ・入浴時等に入居者の体の状況をチェックすることにより早期発見に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) ・成年後見制度については、家族会で概要説明をしました。 ・1人の入居者については、成年後見制度が利用できるように支援しました。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ・契約時に十分な説明をしています。 ・1ヶ月以上の入院となり、グループホームに帰ってこれないような状況の場合には、退去になる旨の説明をしています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・運営推進会議、家族会の案内を出して家族様の参加の機会を作り、ご意見を頂戴して運営に役立っています。 (外部評価) 事業所は行事時に合わせて年2回、家族会を行っておられる。ご家族の中に施設長が入り意見を聞き取っておられる。利用者個々に担当職員がおり、利用者の暮らしぶり、健康状態、金銭管理等を毎月お便りで知らせておられる。又、年4回、事業所全体の「ひなたぼっこ通信」が発行されており、行事やお誕生日の様子等が写真入りで載せられている。「終末期リハビリテーションの考え方」、「大腰筋を鍛えよう」等、介護の参考になるような記事もあり、ご家族に送付されている。	家族会やご家族とのやり取り等、意見を聞けるような機会を設けておられるが、現在はご意見等を出していただけるようなことは少ないようである。今後も利用する側であるご家族の希望や要望等を引き出せるような事業所側からのアプローチの工夫を重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月、1回の定例の介護事業部会議を開催し、職員の声を聞く機会を設けています。	
			(外部評価) 毎月、「介護事業部会議」が開催されており、外出や食事について職員で意見を出し合い、検討されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) ・職員に長く勤めていただくためにリフレッシュ休暇制度を設けて、心身ともにリフレッシュする機会をつくってもらっています。 ・「えひめ子育て応援企業」に応募し、行動計画を策定して子供を育てながら働く女性を支援しています。	
			(外部評価) ・会社からは、外部研修の案内を随時提供するとともに、参加費用については全額会社負担としています。 ・会社負担で研修に参加した職員には、研修報告書を書いてもらい、研修に参加できなかった職員に対して研修内容を説明しています。 ※部署単位のミーティングにて	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 同じ地区内のグループホームと交流会をもち、意見交換等をして交流を深めています。 ※交流会を運営推進会議としても活用しています。	
			(外部評価) 同じ地区内のグループホームと交流会をもち、意見交換等をして交流を深めています。 ※交流会を運営推進会議としても活用しています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) ご本人の話を傾聴するように努めています。 ・その日の体調や状態に応じた生活を送れるように支援しています。	
			(外部評価) ご本人の話を傾聴するように努めています。 ・その日の体調や状態に応じた生活を送れるように支援しています。	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) ご本人の話を傾聴するように努めています。 ・その日の体調や状態に応じた生活を送れるように支援しています。	
			(外部評価) ご本人の話を傾聴するように努めています。 ・その日の体調や状態に応じた生活を送れるように支援しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ・入居時にご本人とご家族から十分な聞き取りをし、アセスメントシートに記録しています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) その時、一番困っていることをお聞きし支援しています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 相手を尊重した言葉使いや視線を合わせた対応をしています。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) いつでも連絡できる関係作りに努めています。日頃の様子がわかるように月に1回は、お手紙や写真を送っています。年に4回は、グループホームの新聞をお送りし、普段の過ごされている様子をお伝えしています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) いつでも来ていただけるようにオープンな環境づくりをしています。	
			(外部評価) 調査訪問時、利用者のお孫さんが赤ちゃんを連れて来られ、職員は、利用者とお孫さんとの写真を撮っておられた。日曜日ごとにお友達が来られてマッサージをして下さるような方もいる。利用者のご自宅近所の方の葬式に、職員が同行されることもある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	
				リビングのソファ等でいっしょに時代劇を見たりお茶を飲みながらおやつを食べたりできるように支援しています。
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	
				退所後、新たな施設に入所する場合は、ご家族や本人の希望をお伺いし適切ところを探すお手伝いをするとともに、適切な情報提供をしスムーズな移転ができるように配慮しています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	
				話をゆっくりお聞きするようにしています。
			(外部評価)	
				利用者個々の担当の職員が、ご本人についての気づきを日誌に記入し、全職員で情報を共有して、思いの把握に努めておられる。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	
				ご家族様に分かる限りの生活歴やどのような環境で暮らしていたかなどの情報収集に努めています。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	
				日々の生活の中で気づいたことは記録し、他の職員とも情報の共有を図っています。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 3ヶ月ごとに介護計画書を更新し、その都度ご家族様に説明して署名していただいています。 ※郵送して確認していただいているご家族様もあります。 介護内容については、月2回のミーティング等で検討しています。</p> <p>(外部評価) ご家族来訪時や電話で介護計画への意見、要望等をお聞きし、主治医からも生活面についてアドバイスをいただき、採り入れるようにされている。</p>	<p>利用者のより良い暮らしを支援するためにも、ご家族等も交えて、ご本人の生活とケアのあり方について具体的に話し合いながら、介護計画を作成できるような取り組みもすすめてほしい。ご家族から意見や要望を引き出せるよう、働きかけの工夫を重ねていかれてほしい。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 月2回のミーティング時に話し合っています。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 外出行事等に対応する職員の増員や体調不良時の付き添い</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 介護相談員数名が月に2回来所し、その時にゆっくりと話を聞いてもらい、困ったこと・希望などの気づきに役立てています。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 個々人のかかりつけ医が決まっており、情報提供と連 携を図っています。	
			(外部評価) それぞれのかかりつけ医の受診にはご家族が付き添わ れている。ご家族の都合によっては職員が同行される 場合もある。2週間に1回、協力医の往診があり、2 4時間相談に乗ってもらえるようになっている。訪問 歯科を利用されている方もある。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) グループホーム内には、看護職員は配置していませ んが、同じ建物内にあるデイサービスの看護師と連携 して随時、対応しています。また、訪問診療の医師が 来所した際に気づいたこと、普段の状況等の情報を 提供をしています。	
			(外部評価) 定期的なお見舞いや病状の聞き取り確認を行って います。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 定期的なお見舞いや病状の聞き取り確認を行って います。	
			(外部評価) 家族様・かかりつけ医と連絡を蜜にとるとともに 看取りの要望があった場合は、当グループホーム の「看取りの指針」を説明し、できる限りの対応 ができるように取組んでいます。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 家族様・かかりつけ医と連絡を蜜にとるとともに 看取りの要望があった場合は、当グループホーム の「看取りの指針」を説明し、できる限りの対応 ができるように取組んでいます。	
			(外部評価) 看取り支援を行う場合は、ご家族の協力は必要になる ことを伝えておられる。事業所で「最期までお願いし たい」と希望されるご家族もあり「看取り介護につ いての同意書」でご家族の意思も確認し、医師とも相談 しながら取り組まれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			研修を受講するとともに事務所内にマニュアルを整備し、いつでも職員が見れるようにしています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			年2回の消防訓練に参加し、体験や説明を受けています。また、マニュアルを整備し、いつでも見れるようにしています。	
			(外部評価)	
			消防署の方の立会いのもと、消防訓練と講習や夜間想定避難訓練も実施された。職員が1人で助ける・2人で助ける・3人で助ける方法のマニュアルを整備されており、実際に行ってみられた。	運営推進会議時に民生委員の方が、町内の防災訓練への参加をすすめてくださっており、管理者は今後参加したいと考えておられる。又、利用者、職員の安全、安心に向けても、いざという時に協力してくれる地域の方を増やしていけるよう、事業所側から働きかけや取り組みを重ねていかれてほしい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			その人に応じたわかり易い言葉や声のトーンに気を付けています。	
			(外部評価)	
			職員は、利用者が排泄等で失敗をしたような時にも、ご本人の羞恥心に十分に配慮した対応ができるよう気を付けておられる。調査訪問時、職員は利用者の居室に入室する際にはノックをして声をかけてから入室されていた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			できるだけ声掛けをして、本人の希望を確認し、自分で出来ることはできるだけしてもらっています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 「あなたらしい生活を応援します」を運営理念とし一人一人の生活を大切にするように努めています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 衣服は、できるだけ入居者様に選んでいただいています。また、外出時にはおしゃれ着をおすすめしています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) セッティングや配膳・下膳などその人のできることをしていただいています。 (外部評価) 調査訪問時、車椅子を使用されている方が、ひざの上に食器を乗せて下膳されている様子が見られた。又、配膳したり、テーブルを拭いている方もあった。週4日、昼食は給食サービスを利用されているが、その他の食事は、ホームで手作りをされており、利用者とメニューを決めて、一緒に買い物にも出かけておられる。利用者の誕生日には、手作りのケーキでお祝いされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) チェック表を記入して水分量・食事量の把握をしています。多くの食材を使った料理を作りにしています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 個々に応じた食後の口腔ケアを実施しています。年に数回、当社の歯科衛生士に口腔状態を診てもらい、アドバイスを受けています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	排泄チェック表を参考にして、トイレ誘導や夜間のポータブルトイレ使用により、出来るだけオムツでの排泄をなくすように取り組んでいます。	
			(外部評価)		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	水分・果実・乳製品をとるように配慮しています。外出の機会や体操などで体を動かして頂けるように支援しています。	
			(外部評価)		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	入浴時間帯・回数等は、入居者様の希望に合わせて一人ずつ入浴していただいています。	
			(外部評価)		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	入居者様の睡眠パターンの把握をし、一人一人の生活リズムづくりをするようにしています。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人ごとのファイルに服薬している薬の一覧表をファイルし、職員全員が把握できるようにしています。また、薬の変更があった時は送りをして伝達もれないようにしています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) ホーム内で出来ること、セッティング、配膳、洗濯物干し、買い物、食べたい物や行きたい所の希望をお聞きし、できるだけ希望をかなえてあげるように努めています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 買い物時には、入居者様と出かけています。入居者様の希望に添えるよう家族様と相談し、出かけて頂けるようにしています。	
			(外部評価) 近くの100円ショップで日用品等を買ったり、天気の良い日には松山総合公園に、お弁当を持って出かけた時、時には、ドライブでお花のきれいな場所等に出かけることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 出来る方は、ご自分で管理されています。外出時や買い物に同行してお金が使えるように支援しています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 出来るだけ入居者様の自由にしてもらっています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節に合わせた飾りつけをし、換気や温度調節に気をつけています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>外出時の写真や行事、事業所での普段の様子の写真も飾られていた。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者が思い思いの場所を自分で決めて過ごしています。（リビングのソファ等）</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居様が今までに使用してきた物や好きな物を持参していただいています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>お仏壇やタンスを持ち込まれている方や、誕生日にかかりつけ医から贈られたお花を飾られている利用者の居室も見られた。ご家族から贈られたメッセージカードを壁に貼られている利用者もおられた。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>間違えずに行けるようにトイレの場所や道順が分かるように表示しています。また、ホーム内が煩雑にならないように整理・整頓に心がけています。</p>	